

竹山地区

竹山地区別計画推進策定委員会

地域 竹山1~4丁目

緑区の南側に位置し、南側は保土ヶ谷区に隣接しています。昭和40年代に開発された竹山団地が中心にある丘陵地の住宅街です。この地域は、竹山中公園、竹山二丁目公園、竹山南公園等をはじめ、緑豊かな街並みが続きます。

一方で、高齢化が進んでいる地区でもあります。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

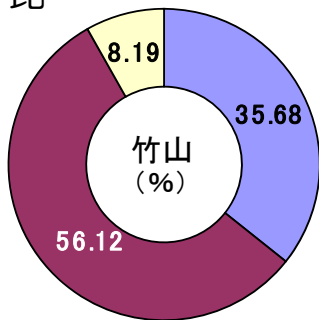
震災時避難場所（地域防災拠点）：竹山小学校

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

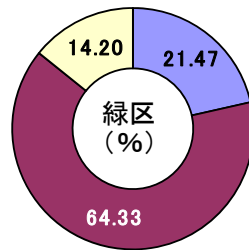
<年齢区分別人口>

平成26年(2014年)9月末

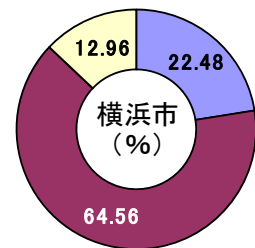
人口比



75歳～	1,051人
65～74歳	1,554人
15～64歳	4,097人
6～14歳	373人
0～5歳	225人
合計	7,300人



75歳～	16,899人
65～74歳	21,462人
15～64歳	114,942人
6～14歳	15,723人
0～5歳	9,654人
合計	178,680人



75歳～	381,069人
65～74歳	455,152人
15～64歳	2,401,961人
6～14歳	293,856人
0～5歳	188,228人
合計	3,720,266人

地区別計画推進策定委員会の開催

第1回

平成26年6月11日
19:00~20:30

竹山ホール

- 第2期3か年の振り返り
- 今年度の取組状況と今後に向けた意見交換

通信No.7 発行

第2回

平成26年12月3日
19:00~20:30

竹山ホール

- 地区の現状と課題や、課題解決に向けて今後取り組めそうなことについての意見交換

通信No.8 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成26年度地区別計画推進状況



竹山地区



安全に安心して暮らせる街を目指して！

竹山地区では『ふる里たけやま』をモットーに、幼児からお年寄りまで、安全で安心して暮らせる街を目指して活動しています！

平成26年度の主な取り組み

ふれあいサロン「竹多久」^{ちくたく}は、平成26年3月から開館日が週6回となり、着実に利用者が増えました。今後も地域ケアプラザとの共催による「元気づくりのひろば」事業の開催など、地域のつながりと交流の場を目指していきます。

また、地区全体では、「盆踊り」「文化祭」「福祉まつり」などの地域行事を大事にして、世代間や活動団体間の交流を進めています。



(写真：「竹山福祉まつり」の様子)



(写真：「第2回地区別計画推進策定委員会」の様子)

次期計画の策定に取り組んでいます！

平成28年度から始まる「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画の地区別計画策定に向けて、地区別計画推進策定委員会では、意見交換やアイデア出しを行ない、地域の課題解決を目指した次期計画の素案作成に取り組んでいます。

竹山地区別計画推進策定委員会は下記の各団体等の代表者などで構成しています。 ※順不同

● 連合自治会 ● 各自治会 ● 地区社会福祉協議会 ● 民生委員・児童委員 ● 保健活動推進員

竹山地区をさらに住みよい素敵な街となるよう、地域全体で力を合わせて取り組んでいきます！



竹山地区別計画推進策定委員会



竹山地区別計画推進策定委員会
平成26年7月発行 No.7

竹山地区別計画推進策定委員会

第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 3か年の取組の振り返り&今後の方向性を確認！

平成26年度第1回推進策定委員会を、
6月11日(水)に竹山ホールで開催しました。
これまでの取組と今年度の方向性について、
報告や意見交換を行いました。

【メンバー】連合自治会、各丁目自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員等27名



《第1回推進策定委員会の様子》



28年度からの第3期計画策定に向けて、今年度から「推進策定委員会」となります！

◀吉川 勝 委員長

■ みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画とは？

誰もが身近な地域で安心して暮らし続けていくために、身近な地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組むための「地域福祉保健計画」を策定しています。

緑区では、「みどりのわ・ささえ愛プラン」と愛称をつけ、取り組んでいます。

「竹山地区別計画」は、竹山地区の方々が、まちの特性や課題などについて、話し合い、平成23年3月に地域の目標として策定しました。

竹山地区別計画の目標

- ▶ 目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます 《つながり》
- ▶ 目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます 《情報》
- ▶ 目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます 《つながり》



委員の皆さんからの報告・今年度の取組など

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます

- ◆平成21年10月開所の「ボランティアセンター」では、高齢者の買い物などのお手伝いをしています（昨年度の対応：約50件）。
- ◆昨年実施した「包丁研ぎ」は大好評で、今年度も2回程度の実施を予定しています。
- ◆無料であることが、依頼しづらいという声もあるので、今後、仕組みを考えていきたいと思えます。



▲包丁研ぎボランティア

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます

- ◆「防災ブック」はNO.1では減災対策と初動対応、NO.2では被災生活と復興対策をテーマとして発行し、全戸配布しました。NO.3では、避難時に使用するカードや被害状況報告書などを盛り込んでおり、8月31日の防災訓練までに、ささえ愛カードとあわせて配布します。
- ◆竹山地区社会福祉協議会のホームページを開設しました。今後は内容を充実させていきます。【URL】<http://takeyamadanchi.p2.weblife.me/index.html/>
- ◆鴨居地域ケアプラザでは、介護保険制度の出前説明会を開催しており、昨年度は計170名が参加しました。少人数でも開催しますので、今後とも御利用ください。

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます

- ◆盆踊りは43回目、文化祭は39回目と地域交流を大切にしています。
- ◆餅つきや秋祭り、草刈など地域行事は続いています。若手の担い手や子ども会のあり方が課題です。
- ◆「ふれあいさろん竹多久」は、昨年は約4,000人が利用し、今年の3月から週6回の開館としました。引き続き、「元気づくりのひろば」など、地域のつながりと交流の場となるように運営していきます。



▲ふれあいさろん竹多久

次回予告



次回は12月3日（水）に委員会を開催し、26年度取組の振り返りと第3期計画について意見交換を行う予定です。

<連絡先> 竹山地区別計画推進策定委員会 事務局 緑区保険年金課内 TEL：930-2336



回 覧

竹山地区別計画推進策定委員会
平成27年2月発行 No.8

竹山地区別計画推進策定委員会

第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 竹山の今後について意見交換しました！

平成26年度第2回推進策定委員会を12月3日に竹山ホールで開催しました。

竹山地区の3つの目標テーマに分かれて、地域の課題やその解決に向けた取組などについてグループワーク形式で意見交換を行いました。

＜メンバー＞連合自治会、自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員等27名

■みどりのわ・ささえ愛プラン竹山地区別計画

竹山地区の住民が、身近な地域の福祉保健に関するまちの特性や課題などについて、話し合い、平成23年3月に地域の目標として策定した計画です。

誰もが身近な地域で安心して暮らし続けていくために区民、ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む「地域福祉保健計画」の中に位置付けられています。

- | | | |
|-----|----------------------|--------|
| 目標1 | ボランティア参加等の仕組みを整えます | 《つながり》 |
| 目標2 | 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます | 《情報》 |
| 目標3 | 世代間・活動団体間の交流を進めます | 《つながり》 |



各グループでの意見をご紹介します！

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます

＜取組推進状況・課題＞

- ボランティアセンターでは、介護保険制度では対応できないちょっとしたお手伝いをしていますが、依頼が減っています。
- 平成25年度から始めた「包丁研ぎ」ボランティアは好評です。
- ボランティアを依頼する・対応する人が固定化している一方で、登録しても十分活躍できていない人もいます。
- ボランティアセンターは自治会館の奥にあることもあり、気軽に入りにくい人もいるのではないのでしょうか。



▲地区別計画推進策定委員会でのグループワークの様子



課題解決に向けてできそうなこと

- 「無償だと頼みづらい」という声を踏まえた、ボランティアの有償化の検討。
- ボランティアの顔写真を貼り出したり、ボランティアセンターの中が見えやすいように工夫し、入りやすい雰囲気づくりの実施。
- ボランティアの「活動内容」、「いつ」、「どこで」を具体的に示した募集の実施。
- ボランティアを依頼した人の経験談の紹介や、ボランティアセンターをPRするマスコットのデザインを子どもから公募してはどうか。
- 隣近所の助け合いができるよう「お互い様」の考え方を浸透させるための取組。

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます

《取組推進状況・課題》

- 自治会に加入すると役員になることを負担に感じる人もおり、自治会加入の利点や必要性が伝わっていないのではないのでしょうか。
- ボランティア参加者が少なく、活動事例の情報発信を行いたくても担い手が不足しています。
- 竹山地区の良さを伝えていくために、若い世代に地域の行事や活動を知ってもらうことを目指し、ホームページを開設しました。
- 防災ささえあいカードなどの取組は、自治会加入率の影響も出てきます。
- 23年度から、初動対応、復興、個人でできる事の「防災ブック」No.1～3を作成・配布しました。



課題解決に向けてできそうなこと

- 自治会役員の負担等を見直し、自治会をPRし、加入率を上げていく。
- 戸建住宅にも自治会加入についてのPR実施。
- 地域の人が集ってお茶が飲める、ふれあいサロン「竹多久」の充実。
- 自治会員がどういった情報を必要としているのか、ニーズ調査。
- 手元に残る紙ベースの情報発信の継続や紙面のイラストや文字の大きさなど紙面の見やすさの工夫。
- 災害時に支援活動をする活動員のための連絡体制づくりや服装の整備。



▲文化祭にて

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます

《取組推進状況・課題》

- 連合や各丁目自治会による盆踊りや餅つきなどで世代間交流が進んでいます。一方で、子ども会が連合単位のため、自治会単位のイベントへの子どもの参加者が減っています。
- 各丁目単位のイベントに、他丁目以外からも参加し、地域住民の交流の場となっています。
- 若い世代は、イベントなどで準備からの参加は難しいですが、当日は参加しています。
- ふれあいサロン「竹多久」を26年度から週6回開館に増やしたところ、利用者が増えました。
- 竹山は転入してきた高齢世帯には住みやすいまちであると好評ですが、一方で子育て世帯が減ってきています。



▲竹山池と住宅



課題解決に向けてできそうなこと

- これまで継続している美化活動に加え、緑地や池など竹山の魅力をいかして、子どもから親の世代まで来てもらえるようなイベントの企画。
- 夏祭りや餅つきなど、育児中の親や親子で参加しやすいイベントの継続。
- 小学校の課外授業などを通じた学校との連携をより進めていく。

次回予告



平成27年上半期に委員会を開催し、今回の話し合いをもとに、第3期竹山地区別計画の案について、意見交換を行います。

＜連絡先＞ 竹山地区別計画推進策定委員会 事務局 緑区保険年金課内 TEL：930-2336